

国際華語特別集会#2:召会の内的な成長は、召会の有機的な増し加わりのためである 5/17-23 **OL Summary:**

I. 召会の内的な成長、有機的な成長は、神聖な命における成長です。この命は、手順を経た、分与する三一の神です:

A. 召会は、この命の中で、この命によって、この命をもって、この命を通して成長します。私たちは、神聖な命から、すなわち神ご自身から生まれました。今や神は私たちを成長させつつあります。

B. コロサイ2:19は、からだの成長、すなわち、私たちの中での神の増し加わりについて語っています:

1. 成長することは、キリストが私たちの中へと加えられることです。

2. からだの成長は、かしらとしてのキリストから出てくるものにかかっています:

a. からだがかしらに結び付くことによって供給されるとき、からだは神の増し加わりによって成長します。

b. からだは、かしらから成長して出てきます。なぜなら、すべての供給はかしらから来るからです。

3. からだの成長は、私たちの中で神が増し加わり、神が加えられ、神が増加することにかかっています:

a. 神はご自身において増し加わることはありません。なぜなら、神は全体的であり、完全であるからです。神は私たちの中で増し加わるのです。

b. 神が私たちを成長させるのは、主観的な方法でご自身を私たちに与えることによってです。

c. 神が私たちの中へと加えられれば加えられるほど、神はますます私たちを成長させます。これが、神が人を成長させる道です。

d. 神だけが人を成長させることができます。神だけがご自身を私たちに与えることができます。神なしに、私たちは成長することができません:

1) 神が私たちの中へと加えられることは、神が私たちを成長させることです。

2) 神が私たちを成長させることの意味は、実は神が私たちにご自身を与えることです。

3) 神が私たちを命において成長させることの意味は、神がご自身を私たちの中で増し加えることです。

4. 神が私たちの中でどれだけ増し加わるかは、私たちがどれだけ場所を神に与えて増し加わっていたかにかかっています:

a. 私たちが神に私たちの中の場所を与えるとき、神は私たちの中で拡大し、増殖します。この増殖が、私たちの中での神の増し加わりです。

b. 私たちの中での神の増し加わりが、私たちの成長となります。なぜなら、神と私たちは一であるからです。

5. キリストのからだとしての召会の成長は、召会の中での神の増し加わりです。』

C. 召会は成長して、ついには円熟、すなわち「**キリストの豊満の身の丈の度量**」にまで到達します:

1. キリストには豊満があり、この豊満には身の丈があり、この身の丈には度量があります。

2. キリストのからだは、彼の豊満、彼の表現です:

a. キリストは無限の神であり、何の制限もありません。彼はとても大いなる方であるので、すべての中ですべてを満たしています。

b. そのように偉大なキリストは、召会が彼の豊満となって、彼の完全な表現となることを必要とします。

c. 私たちはキリストの豊満を享受することを通して、彼の豊満となって、彼の完全な表現となります。

3. キリストの豊満、すなわち、キリストのからだには、身の丈があります。キリストの豊満の身の丈は、キリストのからだの身の丈です。

4. キリストの豊満には身の丈があり、この身の丈には度量があります:

a. 召会(キリストのからだ)の身の丈は成長するので、パウロはこの身の丈の度量について語っています。この度量は、完全に成長した人です。

b. 私たちは、完全に成長した人へと、キリストの豊満の身の丈の度量へと至る途上にあります:

1) キリストの豊満の身の丈の度量を持つことは、個人のための事ではなく、団体のからだの事です。

2) キリストが私たちの中で成長するとき、私たちは徐々にキリストの豊満の身の丈の度量に到達します。

3) 私たちは前に向かって追い求める必要があり、ついには私たちすべてがキリストの豊満の身の丈の度量に到達します。これが私たちの目標です。私たちは勤勉にこの目標に向かって追い求めなければならない、ついには私たちすべてが共にこの目標に到達します。』

II. 召会の有機的な増し加わりは、キリストが彼の花嫁としての彼の有機的なからだの中で増し加わることです:

A. キリストの豊満は彼のからだです。そしてキリストのからだは、彼の配偶者、彼の花嫁です。

B. 「花嫁を持つ者は花婿である。...彼は必ず増し加わる(ヨハネ3:29a-30a)」:

1. ヨハネ3:30aの増し加わりは、29節の花嫁です。この花嫁は、再生されたすべての人から構成されています。

2. 再生は、神聖な命を信者たちの中へともたすだけでなく、彼らを団体の花嫁ともならせて、キリストの増し加わりとします。

3. キリストは、贖われた罪人を再生することによって増し加わり、彼らをキリストの花嫁とさせます。

C. ヨハネ3章が啓示しているのは、増し加わるキリスト、すなわち、神の言葉を語り、その霊を限りなく与える方です:

1. 人が彼の言葉を受け入れるとき、その霊がそれに続いて、語られた事の実際となります。

2. キリストがご自身を増し加えるのは、神の言葉を語って神を拡大させることによってであり、また神の霊を与えてキリストの語った事の実際とならせることによってであり、そして永遠の命を人々の中へと分与して、彼らを神の子供たちとならせ、キリストの増し加わりとします。このようにして、キリストは増し加わるキリストとなります。

D. キリストの増し加わりは、キリストの繁殖と複製です。私たちの存在の再生された部分は、キリストの増し加わり(すなわち、キリストの花嫁)の一部分です。

E. キリストの増し加わりとしての花嫁は、キリストご自身です。なぜなら、キリストのからだ、すなわち、「あのキリスト」は、団体のキリストであって、かしらとしてのキリストと、彼のからだとしての召会(肢体としてのすべての信者を伴う)とから構成されているからです。

CP1:すべての肢体は、キリストの中へと成長し、キリストからのものを持って、建造のために機能する

OL1:召会の内在的な成長、有機的な成長は、神聖な命における成長です。この命は、手順を経た、分与する三一の神です。召会は、この命の中で、この命によって、この命をもって、この命を通して成長します。

OL2:コロサイ2:19は、からだの成長、すなわち、私たちの中での神の増し加わりについて語っています。

コロサイ2:19 かしらに結び付いていないのです。この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。**1:28** 私たちはこのキリストを告げ知らせ、知恵を尽くしてすべての人を戒め、すべての人を教えています。それは私たちが、キリストの中で完全に成長したすべての人を、ささげるためです。

もし私たちがあまりに多く自己の要素を持っているなら、照らされ、裁かれる必要があります。それは私たちの自己の要素が殺されるためであり、また神の要素が増し加わるためです。私たちは召会の中のすべての奉仕において、この原則を顧慮しなければなりません。他の人たちとの祈り、他の人たちを訪問すること、あるいは集会后に他の人たちと交わることに、私たちの天然の要素は徐々に減少しなければなりません。それは神の神聖な要素が徐々に増し加わるためです。

もし祈りの集会の中に神の要素がないなら、その集会には問題があります。もし私たちの訪問の方法が毎年同じであるなら、それは私たちが成長していないことを示します。...召会を建造する奉仕を持つために、私たちは天然の要素を拒絶することを学び、神の要素が増し加わっていただかなければなりません。それは私たちの中の神聖な命が成長するためです。そうしてはじめて、私たちは召会の建造のために、私たちを他の人たちと結合し組み合わせる機能を現すことができます。

OL3:召会は成長して、ついには円熟、すなわち「キリストの豊満の身の丈の度量」にまで到達します。

1コリント3:6 私は植え、アポロは水を注ぎました。しかし、神が成長させてくださったのです。**コロサイ3:16** 知恵を尽くして、キリストの言をあなたがたの内に豊かに住ませ、詩と詩歌と霊の歌とをもって、互いに教え戒め合い、恵みをもって、心から神に向かって歌いなさい。

召会の内在的な成長は、キリストの肢体に神が命の成長を与えることを通してです。賜物のある人たちは植えることと水を注ぐことをするかもしれませんが、神が命において成長させるのです。こういうわけで、私は集会の中で語る前、必ず祈る時間を取らなければならないのです。私は主が私と一であり、ご自身をもって私に浸透してくださるよう祈ります。それは、私が語る時いつでも、主の中にいるためです。主はこれらの祈りに豊かに答えてくださっていると思います。なぜなら、私はしばしば語っているとき、内側で供給されるのを感じて、新しい光と即時的な言葉をもって語り出すからです。私たちは直接、聖書からの養いを必要とします。また、私たちは聖書をさらによく知っている人たちからの水注ぎを必要とします。神は、私たちが御言を読むことと賜物のある肢体の語りかけに聞くことにしたがって、私たちを成長させます。...私たちは御言の中に入り込むとき、養われます。

適用:新人及び青少年・大学生編

新人や若者の皆さんは、主の御名の中に信じて、バプテスマされた時、霊が再生されて、神の子供になりました。神の子供は、キリストのからだの肢体でもあります。**コロサイ2:19FN** **この方(かしら)から**キリストのからだか、かしらから成長することを示します。なぜなら、すべての供給は、かしらから来るからです。

節は、からだの供給のためです。

筋は、からだの各肢体を共に結合するためです。

エペソ4:15 むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。**16** この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

コロサイ2:19とエペソ4:15~16の要点は次の通りです:

①かしらに結び付いて成長するすべての聖徒たちはかしらキリストを保持し、直接、かしらと交わり、かしらキリストの中へと成長し込むべきです。主との個人的な交わりを建て上げる必要があります。賜物によって成就される時も主との個人的な交わりは欠かせません。

②節を通して節々は特別な賜物のある肢体です。彼らの機能は聖徒たちに供給し、成就することです。聖徒たちは彼らの助けを通して成就されて、機能します。

③筋によって筋によって共に結合されます。

④全員が機能するからだ全体はそれ自身を建て上げます。すべての肢体は、キリストの中へと(into Christ)成長し、キリストから(out from Christ)のものを持って機能します。この時、からだは建造され、花嫁が整えられ、主の再来をもたらすことができます。

例えば、あなたは会社の会議で、自分を守ろうとして、小さな嘘をつこうとしました、或いは感情的になりとっさに不正確な言葉(これも嘘です)を語ろうとしました。しかし、神は義なる神であり、神は義を根拠にしなければ何もすることはできません。また、サタンが嘘つきの父であり、多くの場合、一回嘘をつく嘘をつき続けなければならなくなります。あなたはこのような神に関する知識とサタンに関する知識を持って、主の御名を呼び求め、「主イエスよ、私は嘘についてはいけません。そうすればサタンと一つになってしまい、神の臨在と祝福を失います。主イエスよ、私の内なる人を強めてください」また既に嘘をついてしまった場合、「主イエスよ、自分の嘘つきの罪を告白します。私の罪を赦してください」と短く祈ってください。実生活でこのように短く祈ることは、あなたがキリストの中へと成長することです。更にあなたは、これらの経験を小組の聖徒たちと交わり、とりなしの祈りをしてもらおうと良いでしょう。これが節と筋により、供給され、結合される経験です。そして、前進して経験したキリストを持って、他の人を供給することができます。**祈り:**主イエスよ、キリストの中へと(into Christ)成長し、キリストから(out from Christ)のものを持って機能します。かしらに結び付いて成長するために、主と交わり短く祈ります。召会生活の中で、賜物のある肢体に開き、供給を受け、兄弟姉妹と結合され、組み合わせられて、キリストのからだを建造します。

**CP2:キリストの豊満の身の丈の度量に到達する目標
に向かって、勤勉に追い求める必要がある**

OL1:召会は成長して、ついには円熟、すなわち「キリストの豊満の身の丈の度量」にまで到達します。キリストは無限の神であり、何の制限もありません。彼はとても大いなる方であるので、すべての中ですべてを満たしています。**OL2:**私たちはキリストの豊満を享受することを通して、彼の豊満となって、彼の完全な表現となります。**エペソ1:23** この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。

3:8 この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊満を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり、私は台湾の豊満をととてもたくさん食べてきました。そしてこの豊満は私の中へと吸収されて、私になりました。ですから、今、私は命と活力に満ちてここに立つことができます。これが豊満です。召会はキリストの豊満です。

彼はナザレ人イエスとして地上にいたとき、ガリラヤにいるのと同時にユダヤにすることはできませんでしたし、サマリアにいた時にエルサレムにすることはできませんでした。これは、彼が小さなイエスであったからです。彼は肉体によって制限されていました。...今日、彼は死人の中から復活して天に昇られました。ですから、彼はすべてのものを満たしています。彼は同時に天にも地にもいることができます。彼は天の一つの場所にいることができ、同時に地上の無数の場所にいることができます。彼はそのようなすべてのものを満たす方であるので、彼の豊満としての大いなるからだを必要とします。こういうわけで、今日私たちは言うことができますが、彼は地上でそのような大いなるからだを持っておられるので、天におられ、また台北に、香港に、マニラに、シンガポールに、ロンドンに、ドイツに、アメリカ合衆国に、アフリカに、北アメリカに、また南アメリカにもおられるのです。彼のからだは至る所にあります。

からだはキリストの豊満です。教理的に召会はからだですが、実際には、どれほどからだの要素があるかについて、なおも疑問があります。兄弟姉妹、私たちは他の人たちを罪定めすべきではなく、自分自身の状態を見なければなりません。この時、私たちはみな主の光の中で、私たち自身でさえ、この日まで、わずか30パーセントだけその霊によって生きており、残りの70パーセントは自分自身によって生きているかもしれないことを告白しなければなりません。

OL3:私たちは前に向かって追い求める必要があり、ついには私たちすべてがキリストの豊満の身の丈の度量に到達します。これが私たちの目標です。私たちは勤勉にこの目標に向かって追い求めなければならず、ついには私たちすべてが共にこの目標に到達します。**エペソ4:13** ついに私たちすべては、その信仰の一に、また神の御子を知る全き知識の一に到達し、一人の完全に成長した人に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達するのです。邪悪な者は、確かにキリストを必要とします。しかしとても良い人も、同じようにキリストを必要とします。私たちがどのような性情を持っていても、私たちの天然の人は、内住するキリストによって飲み尽くされ、焼き尽くされさえる必要があります。そうすれば実際的に、私たちはキリストのからだ、彼の豊満となります。

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

企業が発展するために、ダイバーシティ(diversity, 多様な文化の許容)や女性の活用が重要であると言われています。しかし、これらを実際に行うのは非常に困難です。思いが古いまましていると、人は古い習慣を変えることはできないからです。

コロサイ 3:9 互いに偽りを言うてはいけません。あなたがたは、古い人をその行ないと共に脱ぎ捨て、

10 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。**11** その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

1 **コリント 12:12** それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです。**13** なぜなら、私たちはユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、みな一つ霊の中で、一つからだの中へとバプテスマされ、みな一つ霊を飲むようにされたからです。

召会はキリストのからだであり、一人の新しい人です。召会の中では、人種、国籍、社会的地位に関係なく、キリストの度量に従ってすべての肢体が機能すべきです。そのために重要なことは以下の通りです:

1 **享受** 毎朝、御言葉を祈り読みし、キリストを食べ飲み享受する。集会に参加して、団体的にキリストを享受する。先ず、キリストを享受する生活を建て上げる。

2 **成長** 実生活で聖書の真理を適用するために祈り、適用してキリストの中へと成長する。**3** **思いの更新と古い人を脱ぐこと** 思いの中の人種や性別に関する偏見や固定観念を十字架に付け、キリストの思いに浸透され、思いが更新されて初めて古い人を脱ぐことができる。

4 **機能** からだの中の自分の機能を果たし、他の人が機能するのを助ける。すべての信者が成長し、機能する時、キリストの豊満の身の丈の度量に到達する。

例えば、ある留学生は日本に来て同じ国から来た人たちと集まり、日本語がほとんど話せないまま、大学を卒業します。召会生活においても、あなたは古い人から来て、日本人だけで集まったり、気の合う人だけと集まったりしてはいけません。偏見を持った古い人が出てきたら、「主イエスよ、私は偏見に満ちた古い人をその行いと共に脱ぎ去ります。言語上の問題がある時、嫌がらずに、通訳が必要でも外国語を話す聖徒たちと交わります。また、世代や社会的な階級が違って、むしろキリストの感覚とからだの感覚に従って、交わることを学びます。私はキリストの中へと成長し、建造のためにキリストを持って機能したいのです」と祈って、キリストのからだの実際を経験してください。そうすれば、あなたは会社でもダイバーシティと女性の活用を実行することができる優れた人材になり、祝福されるでしょう。

祈り: 主イエスよ、キリストのからだである召会の中で機能するために、毎朝キリストを食べ飲み享受します。日常生活で思いが更新されるように、主の思いに開きます。からだの中で自分の機能を果たし、他の人が機能するのを助けることを学びます。キリストの豊満の身の丈の度量に到達する目標に向かって、勤勉に前進します。

CP3:キリストのからだの実際、神・人の生活をするために、自己を十字架に付け、レーマの言葉を聞き、語る

OL1:召会の有機的な増し加わりは、キリストが彼の花嫁としての彼の有機的なからだの中で増し加わることです。**ヨハネ3:29-30** 花嫁を持つ者は花婿である...彼は必ず増し加わるが、私は必ず減少する。**34** 神が遣わされた方は神の言葉(レーマ)を語る。彼はその霊を限りなく与えられるからである。**OL2:**ヨハネ3章が啓示しているのは、増し加わるキリスト、すなわち、神の言葉を語り、その霊を限りなく与える方です。人が彼の言葉を受け入れるとき、その霊がそれに続いて、語られた事の実際となります。**ヨハネ3:6** 肉から生まれるのは肉であり、その霊から生まれるのは霊である。**6:63** 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。私があなたがたに語った言葉は霊であり、命である。

ヨハネ6:63で...ギリシャ語の「レーマ」が用いられています。その霊は生きていて実際ですが、奥義的で触れることができず、把握しにくいのです。しかし主の言葉は実質的です。第一に、主は命を与えるために、彼がその霊と成ることを示されました。そして彼は、彼が語る言葉は霊であり、命であると言われました。これは、彼が語られた言葉は命を与える霊の具体化であることを示します。彼は今や、復活の中で命を与える霊であり、その霊は、彼の言葉の中に具体化されています。私たちが霊を活用して彼の言葉を受け入れる時、命であるその霊を受け入れるのです。

新約の言葉の務めをする人たちはみな、御子の中の神の語りかけの一部分です。例えば、パウロの務めにおける語りかけは、御子における神のこの語りかけの一部分でした。私たちは語る時、神の御子、キリストと一つ霊であることを願います。御言葉を供給する前にしばしば、私はこう祈ります、「主よ、私の語りかけの中で私と一つ霊であってください。主よ、私はあなたの言葉を語る時、あなたと一つ霊であることを実行したいです」。もし私に主と一つ霊であるという確信がないなら、私は少しも語りたいたとは思いません。言葉を語る時、主と一つ霊であることは、私たちが真に神の御子の中にいることを意味します。新約の神聖な言葉を真に語る者はみな、御子の中にある神の語りかけの一部分です。今日、父なる神は御子の中で語られ、御子は新約の言葉の務めをする人たちすべてを含んでいます。

私たちは言葉の務めを遂行する時、何をしていますのでしょうか？ 私たちは神を人々の中へと語り込んでいるのです。私たちは神聖な本質を、人の中に語り込んでいます。私たちの多くが、御言の真の務めに聞き入った結果、神の本質を受けると証しすることができます。...その言葉は私たちに受け入れられた後、私たちの中で霊と命になります。その霊は実は、私たちの内側で命となる神の本質です。...私たちの務めにおける言葉は、私たちの神の本質でなければなりません。

私たちが無限のキリストの宇宙的な増し加わりになる唯一の方法は、その霊を受けて、その霊で満たされることです。その霊を持てば持つほど、ますます私たちはキリストの増し加わりになるでしょう。この増し加わりは私たちの再生で始まり、私たちが計り知れない霊で満たされることで究極的に完成します。

適用:奉仕者編

リー全集1994～97年第一巻上からの抜粋を読んで下さい：**①**簡単に言って、キリストのからだの実際は、神の贖われた一群れの人々が、神・人であるキリストと共に、神・人の生活をするということです(p139)。**②**私たちは皆この事柄を考える必要があります。私たちには用語があり、教理がありますが、実行上、その実際がありません(p169)。**③**私が語っているのは啓示についてではなく、ビジョンについてでさえなく、キリストのからだの実際についてです(p198)。**④**私たちは確かに、使徒パウロが言ったように、絶対的になってどのような代価を払ってでも祈り、代価を払う必要があります。私たちは、自分主の中で安全である、なぜなら自分は将来を犠牲にしたし、この世を愛さなかったからであるという態度を取るべきではありません。それは不十分です。...この高嶺に到達するには、祈りによる以外に道はありません(p221)。**⑤**私は良い戦いを戦い抜き、行程を走り終え、その信仰を守り通しました。今からは、義の冠が私のために用意されているのです。かの日には、義なる審判者である主が、それを私に授けてくださいます。私だけではなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます(IIテモテ4:7～8)。私は、私たちがこの生涯を終える時、同じ事を行ったということができるようにと望みます。そうでないと、私たちは召会生活の学校で落第するでしょう。...もし私たちがこの時代に成就されなければ、主は千年を費やして私たちを成就されます。主は火の池である第二の死を用いてまでも、私たちを取り扱われるでしょう(p222)。

あなたは、主の回復の目的がキリストのからだを建造し、花嫁を整え、主の再来をもたらすことであることを認識してください。主の回復はキリストのからだの実際として一群れの勝利者を生み出すことです。花嫁が整えられるために、**①**あなたの内側で自己が十字架を経過して減少し、主が増し加わること、**②**神のその時に応じたレーマの言葉を聞き、その霊の計り知れない供給にあずかり、神の言葉を語り新人に供給すること、**③**主の再来を待ち望む生活をするのが要求されます。**啓22:20** これらの事を証しする方が言われる、「しかし、私はすぐに来る」。アーメン。主イエスよ、来たりませ!

例えばあなたが家事または奉仕している時、あるいは会社で仕事をしている時、自分がやりたい放題したいので、制限を嫌います、あるいはやりたい放題できることを喜んでいますが、これでは、「私は必ず減少し、キリストは必ず増し加わる」という実際がありません。あなたは、「主よ、私にはキリストの花嫁を整える教理はありますが、実際がありません。主よ、悔い改めます。私をあわれんでください。道理だけの召会生活から抜け出します。内側で私が減少し主が増し加わることを、主の御名を呼んで、実生活に適用します。更に、神の言葉を聞き、霊で満たされ、神の言葉を霊を活用して人々に語り、キリストを分与します。主イエスよ、来たりませ!」

祈り:主イエスよ、キリストのからだの実際は、神の贖われた一群れの人々が、神・人であるキリストと共に、神・人の生活をするということです。しかし私には神・人の生活の実際がほとんどないことを悔い改めます。自己を否み、うまずたゆまず祈り、高嶺に向かって前進できますように。